

令和5年度卒業証書授与式が挙行されました！



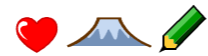
令和6年3月7日(木)、高橋村長様はじめ村の関係者の皆様、保護者の皆様から多数のご臨席を賜り、令和5年度第56回卒業証書授与式を、厳粛な雰囲気の中、盛大に執り行うことができました。29名の卒業生は、3年間学んだ校舎に別れを告げ、立派に巣立っていきました。式後半の卒業生合唱「友～旅立ちの時～」では、同じ教室で学んだ級友との思い出を胸に、未来に向かって突き進むとする強い意志が感じられ、胸が熱くなりました。

保護者の皆様はもちろんですが、PTAや地域の皆様には、この3年間、29名の卒業生を支え、導いてくださりまして、本当にありがとうございました。将来の大潟村を担う卒業生に、今後も温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



「友～旅立ちの時～」を合唱する3年生

台湾雲林県立虎尾国民中学を視察してきました！



本校ではこれまで、韓国やデンマークと交流をしてきましたが、現在は国際交流が途絶えている状況です。そこで、大潟村子ども海外交流事業実行委員会では、大潟村及び大潟村教育委員会と協議を重ね、現在、台湾の中学校との交流に向けた準備を進めています。交流の相手校として予定しているのは、昨年の同窓会講話会で講演していただいた、本校卒業生の芳賀俊成さんが在住している雲林県虎尾地区にある虎尾国民中学です。2月23日、村教育委員会次長の宮田雅人さん、芳賀俊成さんと共に、虎尾国民中学を訪問、視察し、相互交流に向けた協議をしてきました。

雲林県は台湾南西部にあり、農業が基幹産業です。虎尾地区は、日本統治時代の1896年に大日本製糖株式会社が製糖工場を建設したことを契機に発展したとのことで、日本とつながりが強い地区と言えます。虎尾国民中学は、本校と同じく創立56年で、全校生徒221名、教職員数は40名です。校舎、敷地は広く、グラウンドは全天候型で、ハンマー投げのケージも整備されていました。また、ウェイトトレーニングの設備も充実していました。

日課は、45分授業が1日8コマで、部活動はないのですが、体育センターのコースがあり、陸上競技、テコンドー、ボクシング、ダンスなどが盛んです。日本でいう技術・家庭科でのものづくり(木工、金工、民芸品等)に取り組む職業探索のコースがあり、そのための機材がとても充実していました。そのほかに、国際交流のコース、科学技術のコース(プログラミングや電子工作)もあります。訪問したときは、やり投げや円盤投げ、走り高跳び、ハードル走などの陸上競技、テコンドーに取り組んでいました。また、生徒か



虎尾国民中学の校門



陸上競技 やり投げ



テコンドーの演舞

ら、虎尾地区に古くから伝わる人形劇、太鼓、獅子舞を披露していただきました。どれもプロ顔負けのレベルの高いものでした。そのほかに、吹奏楽やマーチングなどの音楽活動、校外学習として登山、キャンプなどの自然体験にも力を入れているとのことでした。日本の中学校とはかなりシステムが異なっていますが、生徒一人一人の個性に応じたキャリア教育に力を入れていました。



伝統芸能 人形劇

伝統芸能 獅子舞

右のQRコードを読み込むと、虎尾国民中学のホームページを閲覧することができます。メインページの下部に活動の様子が分かる動画がありますので、ご覧いただければと思います。今年7月には、虎尾国民中学から、王昇燦校長先生はじめ3名の先生方が来校する予定です。今後、生徒の国際理解を深め、世界で活躍できる人材の育成に向け、交流の準備を進めていきたいと思っています。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。



虎尾国民中学のホームページ

令和5年度秋田県学習状況調査の結果報告



昨年12月7日に、1、2年生を対象として秋田県学習状況調査が実施されました。

2月20日に実施した学年末PTAでもご説明しましたが、この調査(学力調査及び質問紙調査の一部)の結果をお知らせします。

学力調査の結果

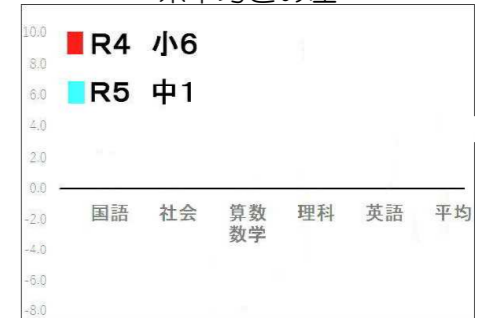
※ホームページ上の資料では、この結果は掲載しません。

令和4年度 大潟小6年

R4	国語	社会	算数	理科	平均
小6					
県	84.5	68.1	70.2	77.9	75.2
差					

令和5年度 大潟中1年

R5	国語	社会	数学	理科	英語	平均
中1						
県	76.3	66.5	61.5	66.1	62.4	66.6
差						



令和4年度 大潟中1年

R4	国語	社会	数学	理科	英語	平均
中1						
県	72.3	61.9	55.0	65.9	54.9	63.8
差						

令和5年度 大潟中2年

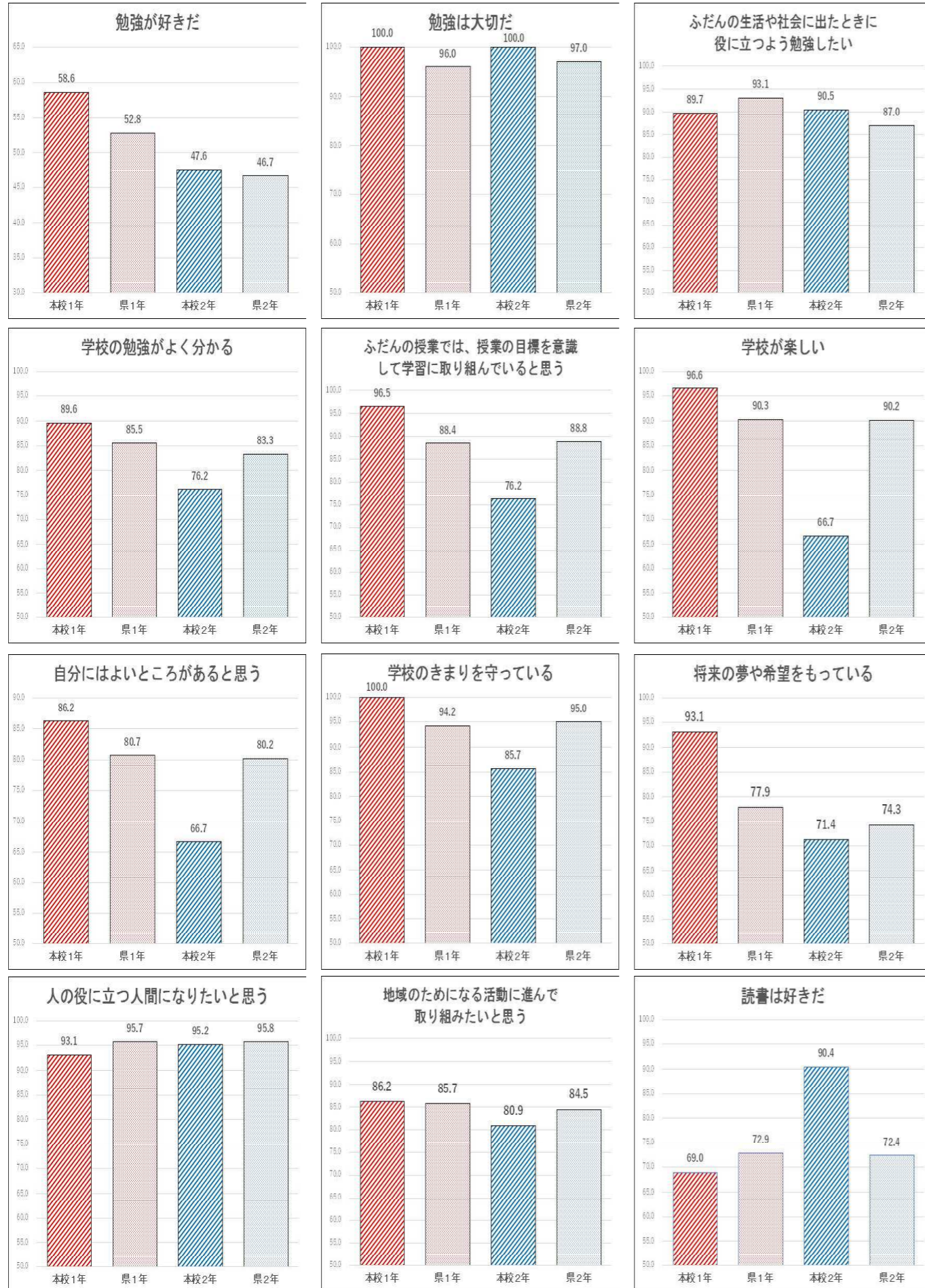
R5	国語	社会	数学	理科	英語	平均
中2						
県	70.3	60.7	61.3	61.4	51.4	61.0
差						



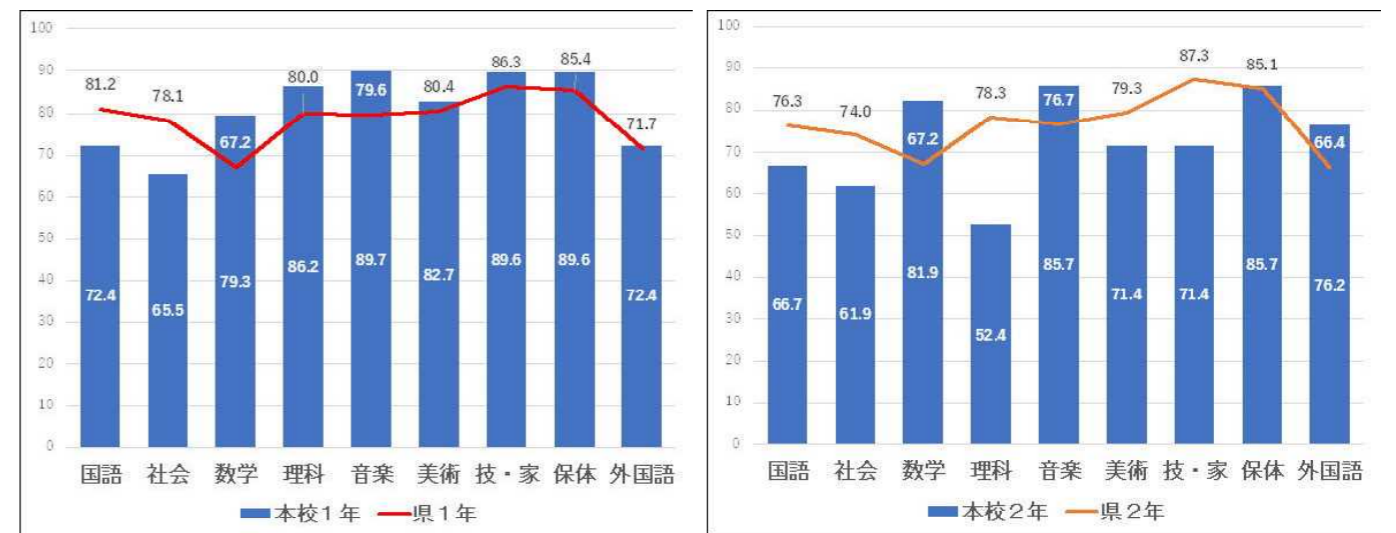
1年生は、昨年度、4教科とも県平均を下回っていましたが、今年度は5教科とも県平均を上回りました。特に数学、理科の伸びが著しい結果となっています。2年生は、昨年も全教科で県平均を上回っていたのですが、今年度は更に向上し、4教科で県平均を10点以上上回りました。特に英語、数学の伸びが著しく、国語、社会も大きく向上しています。これは、本校が取り組んできたICTを活用した授業改善の成果だと分析しています。ICTを活用して自分の考えをもつことや、短時間で互いの考えを共有し、話し合い活動を充実させたことが、生徒の思考力・判断力・表現力等の向上につながったのではないかと思います。もちろん、小学校時代からの積み重ねがあつてこそですが、本校の今年度の取組が、生徒の力を引き出し、引き上げたものと考えています。来年度もこの取組を継続し、生徒の学力向上に努めていきます。

口生徒質問紙調査の結果

肯定的回答（「当てはまる」＋「どちらかといえば当てはまる」）の割合

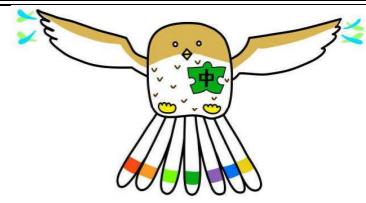


教科が好きな割合（「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計）



「勉強が好きだ」「勉強は大切だ」「ふだんの生活や社会に出たときに役に立つよう勉強したい」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う」の質問については、県平均と同等程度か若干高い結果となっています。1、2年生とも、勉強に対する意欲や地域貢献に対する意識は高いと捉えることができます。その他の質問に対しては、1年生は肯定的な回答の割合が高いのですが、2年生は低めになっています。2年生の5教科の成績は県平均をかなり上回っているものの、勉強に苦手意識をもち、学校が楽しいと感じていない生徒が多いという状況で、自己肯定感も低い傾向にあります。2年生は、理想とする自分になっていない、現状に満足していない生徒が多いと捉えることができます。このことは、見方を変えると、向上心が高いとも考えられます。「読書は好きだ」という質問に、2年生が突出して高いのも、向上心の表れと言えるのではないのでしょうか。最上級生である3年生になると感じ方も変わるかと思いますが、来年度も、一人一人が楽しいと感じられる学校となるよう努めていきたいと思えます。

3月4日～14日にかけて、放課後の時間帯を活用し、1、2年生一人一人と校長面談を実施しました。1年生は、中学校生活に慣れ、毎日楽しく勉強や部活動に取り組んでいる様子が感じられました。また、4月からは先輩として、新入生のいい見本になりたいと話してくれた生徒が多くいて、頼もしく感じました。2年生は、この調査結果同様、勉強に苦手意識をもっている生徒が多いと感じました。しかし、将来の希望についてしっかりと考えた考えをもち、「3年生になったら勉強と部活動の両立を頑張る」と力強く答えてくれた生徒が多くいました。また、「最上級生として、様々な行事を成功させたい」と話してくれた生徒もいました。来年度、それぞれの立場を自覚し、更に大きく成長することを期待しています。



今年度の校長通信「白鳥」は、今号をもって最終号とします。1年間のご愛読、ありがとうございました。本通信へのご意見、ご要望等ありましたら、いつでもお話しください。今後とも、本校教育活動へのご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします。

